



株式会社デルソレ

第**60**期 決算報告 **2024**
2023年4月1日～2024年3月31日



食と食の文化を通じて、お客様に満足と幸せを提供します ～ “おいしい” で世界をつなぐ ～

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第60期決算報告をお手元にお届けするにあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

当事業年度におけるわが国経済は、感染症対策としての行動制限が緩和され、経済活動が正常化していく動きが進む一方、世界的な原材料・資源価格の高騰と緊迫した国際情勢の長期化等によって、更なる物価上昇懸念が台頭するなど、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような経営環境の中で、当社は2023年度(2024年3月期)から2026年度(2027年3月期)までの事業運営に関する「中期経営計画2026」を策定し、経営理念としている「食と食の文化を通じてお客様に満足と幸せを提供する」ことを一貫して追い求め、「食の安全・安心」を第一に掲げて、「“おいしい” で世界をつなぐ」をミッションに、業績の向上と財務体質の改善を図り、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当事業年度の売上高は177億8千4百万円(前期比5.3%増)、営業利益は12億2千万円(同192.1%増)、経常利益は12億6千7百万円(同145.6%増)となりました。食品事業において、固定資産の減損損失を計上したこと等により、当期純利益は5億9千9百万円(同97.9%増)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬ、ご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024年6月
株式会社デルソーレ
代表取締役CEO 大河原 毅



代表取締役CEO 大河原 毅

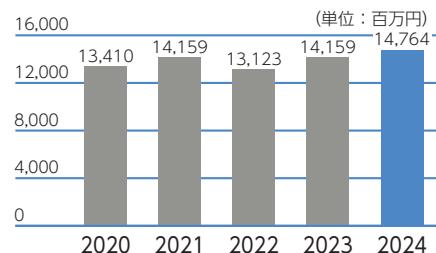


代表取締役社長 大河原 泰

事業別の概況

○ 食品事業

食品事業（売上高）

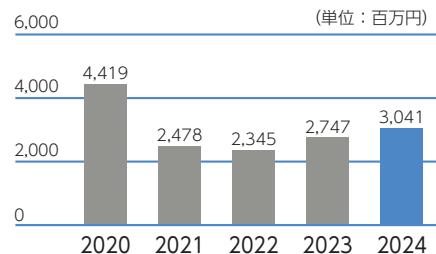


食品事業におきましては、外食業界等を主要取引先とする業務用分野では堅調に推移しているものの、食品スーパー・生協等の一般家庭用分野では、市場環境の変化に伴う食料品の値上げが続いており、依然として節約志向の消費マインドは継続されております。このような状況の中、主力である外食・中食市場において積極的に販路拡大を進めるとともに、チルド品に加えて冷凍品の拡販を加速する一方、収益基盤の再構築を図るべく価格改定やアイテム集約を実施してまいりました。具体的には、業務用分野では、大口取引の見直しによって売上構成の効率化および高収益化を図ることで増収となりました。また、本年（2024年）11月の創立60周年を記念した「高温窯焼き本格クラストTHE PIZZA」に続き、第二弾新商品として、北海道の贅沢素材をトッピングした最上位商品「HOKKAIDO PIZZA」を送り出

すとともに、主力ロングセラー商品「手のばしナン」を発売から19年を経て今般リニューアルするなど、高付加価値商品の展開ならびに当社冷凍ピザラインナップの拡大に努めてまいりました。加えて、輸入商品ビジネスについては、ヨーロッパの本格冷凍パンおよびアメリカ産冷凍チーズの販売を強化する一方、当社商品の輸出にも販路を求め、円安を追い風とした海外市場の開拓にも努めております。この結果、当事業年度の売上高は147億6千4百万円（前期比4.3%増）、セグメント利益は15億1千3百万円（同36.0%増）となりました。

○ 外食事業

外食事業（売上高）



外食事業におきましては、外食需要の回復傾向が強まりつつある一方で、コスト上昇圧力は収まらず、慢性的な人手不足もあって、依然として厳しい経営環境が続いております。このような状況の中、テイクアウトブランドの強化を図り、高級串焼・鶏総菜を提供する「京鳥」とヒット商品“お好み焼焼き”を提供する「おめで鯛焼き本舗」においては、直営店に加えてフランチャイズ展開の拡大によって安定した収益確保を目指してまいりました。具体的には、4月に埼玉県上尾市で「おめで鯛焼き本舗アリオ上尾店」、大阪府大阪市で「おめで鯛焼き本舗天王寺MIO店」を直営店として、4月に愛知県豊川市で「おめで鯛焼き本舗イオンモール豊川店」、9月に埼玉県南埼玉郡で「おめで鯛焼き本舗東武動物公園店」、本年3月に長崎県長崎市で同県初となる「おめで鯛焼き本舗アミュプラザ長崎店」をフランチャ

イズ店として出店しました。加えて直営店では、4月に東京都大田区で「京鳥グランデュオ蒲田店」、本年3月に東京都中央区で「京鳥松屋銀座店」をリニューアルオープンしました。一方、早期業績回復を目的とした不採算店舗の閉店を積極的に進め、居酒屋・レストラン業態で計5店舗を閉店しました。また販売促進施策として、特にユニークな鯛焼き商品については人気テレビ番組で注目される機会も多いことから、話題性のある有名テーマパークとコラボしたキャラクター焼きも手掛けるなどして、プロモーション活動とSNSを活用した情報発信にも注力しております。この結果、当事業年度の売上高は30億4千1百万円（前期比10.7%増）、セグメント利益は7千4百万円（前期はセグメント損失1億8百万円）となりました。

食品事業

■マーケティング活動

ピザ、ナン、ピタ、フォカッチャ、トルティーヤといった「世界のパン」をWEB、YouTube、SNS、店頭、ECといった多様なチャンネルから情報を発信することで、楽しい食文化や食体験を通して食のバリエーションを提供し、食卓を豊かにしたいという想いととも、市場の拡大を目指しております。

【デルソーレ公式Instagram】

2021年6月の運用開始から2年半で
フォロワー1万人を達成！

レシピ紹介を中心にプレゼントキャンペーン等、認知から商品体験できるような運用によりスーパーや自社ECへの購入に繋がっています。



3/2放映「サタデープラス」
にて当社の「THE PIZZA」
が紹介されました

【TVで紹介されました】



「冷凍&チルドピザ」ひたすら試してランキングとして、「家庭用ピザ」を調査し、5つの評価項目【1チーズの満足度、2コストパフォーマンス、3ソースだけの味、4生地のみ、5全体の味】で評価を行い点数化し、総合得点の高い上位5商品を「番組おすすめベスト5」として紹介。「THE PIZZA」はソース部門では1位、総合ランキング2位。また、当社が日本で初めて冷凍ピザを製造販売したことも紹介されました。

食品事業

■商品開発

愛され続けて19年 ♡ありがとうございます♡

当社のロングセラー商品「手のばしナン」をリニューアル！！



<リニューアルの特徴>

自家製発酵種を使用した生地玉によって旨味・食感・風味を最大限引き出しました。



デルソーレ「手のばしナン」は、19年間変わらない“おいしさ”をお届けしてまいりました。このたび、これまでのお客様からのご要望や市場の変化を商品開発に取り入れ、マイナーリニューアルという形でお応えすることといたしました。

具体的には、レトルトカレー市場における本格カレーの進化に合わせ、より高品質なナンの開発を実現しました。

①本格カレーとの相性 ②焼き色 ③甘味 の3点を意識して改良いたしました。

外食事業

■「おめで鯛焼き本舗」 「京鳥」 で出店強化

高級串焼・鶏惣菜の「京鳥」とヒット商品“お好み鯛焼き”を提供する「おめで鯛焼き本舗」のテイクアウトブランドの出店強化に取り組んでおります。出店エリアも九州地方にまで広がり、更なるブランド認知拡大、新たなファン獲得による事業拡大を目指してまいります。

■新店舗のご案内

9/27
OPEN

F C店舗
おめで鯛焼き本舗
東武動物公園店
(埼玉県南埼玉郡)



東武動物公園内におめで鯛焼き本舗をオープンしました。鯛焼きの他「ホワイトタイガー焼き」も園内で限定販売しております。

3/1
OPEN

F C店舗
おめで鯛焼き本舗
アミュプラザ長崎店
(長崎県長崎市)



長崎駅直結の長崎最大級ショッピングセンターの「食のフロア」におめで鯛焼き本舗をオープンしました。連日鯛焼きをお買い求めいただく人々で、賑わっています。

3/5
OPEN

直営店舗
京鳥
松屋銀座店
(東京都中央区)



松屋銀座のデパ地下に京鳥としてリニューアルオープンしました。「鹿児島県産銘柄鶏 桜島ゴールド」を筆頭にこだわりの鶏惣菜を取り揃えております。

■テイクアウトブランド催事出展



当社は「子供と農業をつなぐ架け橋」として日本の農業&食の魅力を発信するために、『ファーマーズ&キッズフェスタ』に「おめで鯛焼き本舗」を出展し、おいしさと素材へのこだわりをお伝えさせていただきました。

「ファーマーズ&キッズフェスタ2024」
2024/3/2~3 (東京都渋谷区)



海外パートナー

■北欧リトアニアのパートナー・Mantinga社と共に冷凍パンビジネスを展開



「FOODEX Japan2024」
2024/3/5～8（東京都江東区）
展示会 リトアニアブースにて
（Mantinga社、リトアニア大使館スタッフと共に）



「スーパーマーケットトレードショー2024」
2024/2/14～16（千葉県千葉市）
（マンティンガ商品ラインナップの再案内、
本格ヨーロピアンブレッドを提案）

当社の冷凍パンビジネスは、ポストコロナ、インバウンド等による国内需要の増加を機に、更なる成長を目指します。60期はMantinga社の定期来日に合わせ、展示会への共同出展や新規開拓を狙ったお取引先様への同行商談を積極的に展開してまいりました。輸入ビジネスを取り巻く環境は、原料・輸送費の高騰に加え円安によるコスト上昇等、厳しい状況が続いておりますが、当社はMantinga社と一体となり、物流の効率化や国内需要に適合した商品開発等にも注力し、収益確保のための取組みを強化しております。引き続きMantinga社、お取引先様とは一丸となって、製品の安全と品質管理の徹底向上に努め、お客様にヨーロッパ本格派冷凍パンの魅力とおいしさをお届けしてまいります。

CSR

■ 「忘れな草プロジェクト」 東京にて開催！



「グリーンアイランドフェスティバル2024」
2024/3/16～17（東京都渋谷区）

「忘れな草プロジェクト」は、2011年に発生した東日本大震災の影響で風評に苦しむ農産業支援を目的として立ち上げたプロジェクトであり、当社が参画する社会貢献活動「ほのぼの運動」の一つです。

今年は、東日本大震災復興支援の想いを能登半島地震による被災者支援へと繋ぐため、「グリーンアイランドフェスティバル2024」内特設ブースおよび会場となった代々木公園内で東北の農業高校生らとともに忘れな草を手渡し、被災された方々に寄り添い、支援の一助となるべく募金活動に取り組みました。

今後も「ほのぼの運動」を通じた社会貢献をはじめとして、ステークホルダーに対する社会的責任を果たすためのCSR活動を実践してまいります。



財務諸表

貸借対照表 (要旨)

(単位: 千円、千円未満は切捨て)

	第60期期末 (2024.3.31現在)	第59期期末 (2023.3.31現在)
(資産の部)		
流動資産	6,368,715	6,005,546
固定資産	4,368,782	5,024,111
有形固定資産	3,184,583	3,573,746
無形固定資産	11,209	10,106
投資その他の資産	1,172,989	1,440,258
資産合計	10,737,497	11,029,657
(負債の部)		
流動負債	2,734,130	3,574,351
固定負債	1,371,219	1,373,502
負債合計	4,105,350	4,947,853
(純資産の部)		
株主資本	6,571,081	6,060,685
評価・換算差額等	61,065	21,118
純資産合計	6,632,146	6,081,804
負債純資産合計	10,737,497	11,029,657

損益計算書 (要旨)

(単位: 千円、千円未満は切捨て)

	第60期 (2023.4.1~ 2024.3.31)	第59期 (2022.4.1~ 2023.3.31)
売上高	17,784,656	16,893,408
売上原価	10,964,987	10,686,330
売上総利益	6,819,669	6,207,078
販売費及び一般管理費	5,599,197	5,789,262
営業利益	1,220,471	417,816
営業外収益	130,386	113,498
営業外費用	83,835	15,330
経常利益	1,267,022	515,984
特別利益	89,202	7,055
特別損失	422,640	209,223
税引前当期純利益	933,585	313,816
法人税、住民税及び事業税	288,854	152,107
法人税等調整額	45,283	△141,265
当期純利益	599,447	302,973

キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 千円、千円未満は切捨て)

	第60期 (2023.4.1~ 2024.3.31)	第59期 (2022.4.1~ 2023.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,106,740	395,517
投資活動によるキャッシュ・フロー	△152,371	△67,116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△346,603	△276,666
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	607,765	51,734
現金及び現金同等物の期首残高	1,649,350	1,597,615
現金及び現金同等物の期末残高	2,257,115	1,649,350

株式の状況 (2024年3月31日 現在)

株式の状況

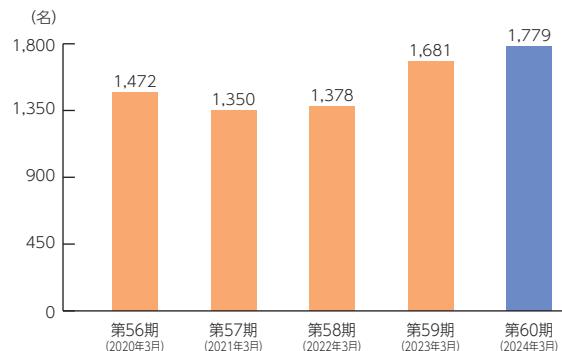
■ 発行可能株式総数	14,000,000株
■ 発行済株式の総数	9,105,290株 (自己株式200,192株を含む。)
■ 株 主 数	1,779名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
大河原 愛 子	2,278,000	25.58
大河原 毅	1,534,250	17.23
PT INDOFOOD CBP SUKS ES MAKMUR TBK	900,000	10.11
株式会社ミツウロコグループ ホールディングス	300,000	3.37
マリンフード株式会社	264,800	2.97
株式会社ニチレイフーズ	255,000	2.86
株式会社三菱UFJ銀行	215,000	2.41
株式会社商工組合中央金庫	200,000	2.25
日清製粉株式会社	180,000	2.02
和 田 隆 介	155,700	1.75

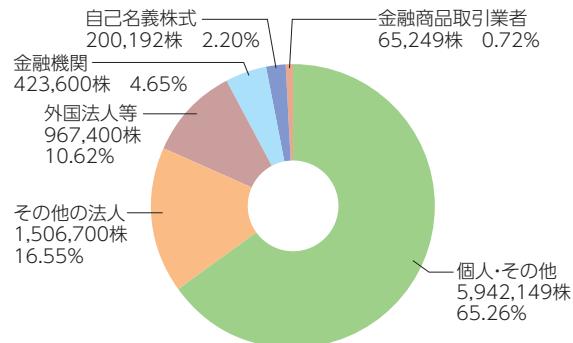
- 1、当社は、自己株式を200,192株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
- 2、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主数推移

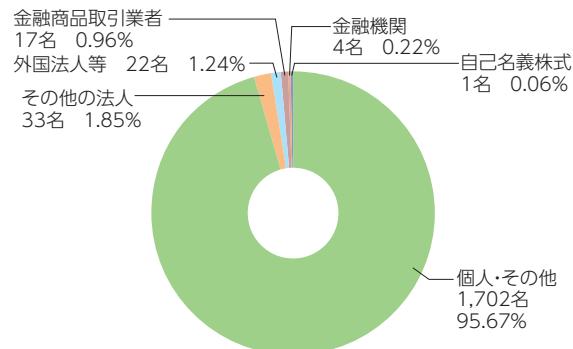


株式分布状況

株式数別



所有者数別



会社概要

会社概要 (2024年3月31日現在)

設立 1964年(昭和39年) 11月19日
資本金 9億2,293万円
主な事業内容 食料品の製造・加工および販売、外食産業、その他
従業員数 247名

役員 (2024年6月25日現在)

代表取締役CEO	大河原 毅
代表取締役社長	大河原 泰
取締役	アーネスト M. 比嘉
取締役	森山 敏治
取締役	印部 修一
取締役	三枝 広幸
取締役	武長 栄治
取締役	長林 道生
取締役(社外取締役)	遠藤 貢
取締役(社外取締役)	近藤 正樹
監査役(社外監査役)	金原 俊一郎
監査役	高柳 泉
監査役(社外監査役)	山田 勝重



ホームページのご案内

<https://www.del-sole.co.jp>

当社に関する最新情報等をお伝えしております。
ぜひ、ご覧ください。

株主の皆さまの
声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

スマートフォンから
カメラ機能でQRコードを読み取り

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」✉ koekiku@pronexus.co.jp

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主 確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711（フリーダイヤル）
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場金融商品取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告方法	電子公告により当社ホームページ（ https://www.del-sole.co.jp ）に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社デルソレ

〒135-0063 東京都江東区有明三丁目4番10号TFTビル西館7階
TEL 03 (6736) 5678 (代表) FAX 03 (6736) 5751
<https://www.del-sole.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

